

●ケース表イメージ

●ケース裏イメージ



●内側（三つ折り）イメージ



神奈川県

「かながわ」の名は、昔、神奈河、神を川、上根川なども書かれ、武蔵国久良岐郡（現在の横浜市神奈川区）の地域をい、古くから海上交通の重要なところでした。これが神奈川県名になったのは、横浜開港に伴い、安政6（1859）年に「神奈川県奉行所」を置いたことによります。明治元（1868）年9月に神奈川県となりました。



神奈川県章
神奈川県の「神」を象徴化したものです。県旗や県の発行物に使われています。昭和23年11月3日制定されました。



神奈川県の鳥（あまぎ）
神奈川県民が愛慕された鳥の口から、日本の道徳の空聞「義経」を導く神奈川県にふさわしく、一般にも親しまれていることを理由に選ばれました。昭和40年6月に制定されました。




神奈川県の花（やまゆり）
神奈川の気候風土によく合い神奈川県内各地に花を咲かせており、昔から多くの人々に愛されています。昭和26年1月に制定されました。

500円ハイカラー・クラッド貨幣


ハイカラー・クラッド貨幣とは、2種類の異なる金属を組み合わせた「ハイカラー」硬貨と、金銀合金の硬貨とを組み合わせた「クラッド」硬貨を指す場合があります。

（神奈川県）表面「鎌倉大仏」

◎ 鎌倉大仏（西宮・徳田行次郎大佛半像）をデザインしています。総務省大仏・新府土民衆文化センター「鎌倉（大仏）」同窓会館に寄贈し、武蔵野大学の集積として、鎌倉市の公共施設として、多くの市民が利用していただいております。縦径11.5mm、厚さ1.5mm、重量1.5g、発行枚数は1億枚です。発行は、明治30年（1897年）に国定に指定された、「神奈川県資料」。



神奈川県



KANAGAWA

500円ハイカラー・クラッド貨幣の概要

額面	500円
素材	銅・黄銅（白銅67%）
品位	銅85%、亜鉛12.5%、ニッケル2.5%
重量	1.5g
直径	11.5mm
厚さ	1.5mm
発行	2023年11月3日
発行所	財務省造幣局

（神奈川県）裏面「鎌倉大仏」